

新規実施項目および受託中止のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しく願い申し上げます。

敬具

記

- 受託開始日 2022年 4月 1日(金) ご依頼分より受託開始
- 新規受託項目 MCIスクリーニング検査プラス
- 検査要項

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値単位	所要日数	実施料判断料	備考
2222	MCIスクリーニング検査プラス	血漿 2.0mL	E-2 ↓ G 凍結	質量分析法	評価:A (表1参照)	15~24	未収載	*F

検査場所: SCMLセンター(積水メディカル株式会社)(略号:*F)

(表1)リスク評価について

評価	リスク値
A	0.00~0.50
B	0.51~1.00
C	1.01~1.50
D	1.51~2.00

【リスク値の算出方法】

MCI リスク値は下記2つの判別式から得られる指標値をもとに作成した判別式により算出しています。

- 1) 認知機能異常と認知機能障害を判別する判別式により算出された指標値
 - 2) 認知機能低下の進行度を推定する判別式により算出された指標値
- 専門医によって臨床診断が行われた検体をもとにA~Dの4段階でリスクを評価しています。

※上記のMCIスクリーニング検査プラスの実施に伴い、下記検査項目を受託中止とさせていただきます。

- 受託中止日 2022年 3月 31日(木) ご依頼分をもって受託中止
- 受託中止項目 (0840) MCIスクリーニング検査

●MCIスクリーニング検査プラスについて

▼検査実施における注意点

- ・本検査はアルツハイマー病の前段階であるMCI(軽度認知障害)のリスクを統計学的に調べる検査であるため、既に認知症を発症されている方は対象外となります。
- ・空腹である必要はありません。
- ・採血後は、すみやかに遠心分離してください。

▼臨床的意義

MCIとは、Mild Cognitive Impairment の略で軽度認知障害と呼ばれ、健常と認知症の中間の状態を指し、認知症予備軍といわれています。アルツハイマー型認知症発症の主な原因の1つであるアミロイド β ($A\beta$)は、老化や生活習慣の乱れにより脳内に蓄積されていきます。この $A\beta$ は神経細胞のシナプスにダメージを与え、記憶などの認知機能を障害します。そのまま放っておくと約5年で半数近くがアルツハイマー型認知症などの認知症に進行するといわれています。最近の研究ではMCIの段階で適切な予防や治療を行えば、認知症の発症を防ぐことや遅らせることができるとされています。

本検査でこれらのアルツハイマー型認知症の病態進行に関わるタンパク質を「栄養」「脂質代謝」「炎症・免疫」「凝固・線溶」の4つのカテゴリーに分類して血中量を測定することで、MCIのリスクを評価しています。

▼参考資料

MCIスクリーニング検査プラス 医療従事者向け検査結果指導ガイド